

事業番号	15 05 05	事業改善シート(28年度実施事業分) <input type="checkbox"/> 予算要求 <input type="checkbox"/> 当初予算案 <input type="checkbox"/> 補正予算案 <input checked="" type="checkbox"/> 点検			
事業名	魅力ある高校づくり推進事業費			担当課	部局 教育委員会事務局
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室 教学指導課
	施策の総合的展開				E-mail kyogaku@pref.nagano.lg.jp
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針				実施期間 H7 ~
	施策展開				

### 1 事業の概要

目指す姿	現行の学習指導要領の趣旨に則り、生徒の思考力・判断力・表現力等を育成するために教育課程編成を工夫し、引き続き生徒の能力、適性、興味・関心の多様化と希望進路の多様化に対応するために、各高等学校は教育課程の弾力化を図り、県は、必要な非常勤講師を配置する。これにより、多様化したすべての生徒に対して、確かな学力を保障するとともに、社会で求められる生きる力の育成を図り、希望する進路を保障する。															
現状(予算編成時)	現行の学習指導要領の趣旨を実現するために、教育課程編成における新たな工夫が必要になっている。また、生徒の進路の多様化への対応も変わらず求められており、各校の教育課程編成における取組を引き続き支援するために非常勤講師の配置が必要である。															
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 非常勤講師の配置や学習指導要領に則った教育課程の編成は県が実施すべき事業である。														
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)															
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力実態調査(高2)での基礎学力定着度(正答率)の向上を目指し、H28年度国語64.7%、数学59.8%、英語59.6%を目標とする。</li> <li>・コース、類型・選択制に関する意識調査の生徒満足度84.6%を目標とする。</li> </ul>															
	② 事業内容 (単位:千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初) (決算)	H29 (当初)									
		教育課程改善推進事業	直接	現行の学習指導要領の趣旨に則り、教育課程の円滑な実施を図るため、教育課程の研究を行う。	5,187	5,187	4,753									
		カリキュラム編成支援事業(旧 コース制、類型、選択制の導入、探究活動・特別活動等の充実、個別学習)	直接	・「21世紀型学力」の育成に係る各課題に対応するカリキュラムを実施するために必要な非常勤講師を配置 ・「学び直し」に係るカリキュラムの編成・実施のために必要な非常勤講師を配置	100,223	92,826	100,223									
		高等学校普通科コンピュータ整備事業	直接	普通科を置く県立高校65校に整備した各校41台のPC及び付帯機器の保守	88,378	87,722	93,993									
	教育課程研究指定校事業	直接	教育課程の編成、指導方法及び評価方法等の工夫改善に関する実践研究	394	222	387										
	自律的・組織的な学校運営体制の構築に向けた調査研究事業	直接	学校運営体制の強化や総合力を高めるため、研究指定校による調査研究	1,106	0	0										
	土曜授業推進事業	直接	効果的な土曜授業のあり方を研究し、その成果を県内高校で共有する。	1,161	0	0										
			合計	196,449	185,957	199,356										
事業	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	194,107	196,449	199,356				目標	成果	達成状況					
		補正予算							県学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国65.9% 数61.7% 英61.0%	国66.0% 数59.8% 英61.1%		国64.7% 数59.8% 英59.6%	国66.1% 数62.3% 英61.2%	達成	国65.0% 数60.0% 英60.0%
		合計(A)	194,107	196,449	199,356					コース、類型・選択制生徒満足度	84.2%		84.6%	84.6%	84.7%	達成
	コスト	一般財源	189,153	190,257	195,438											
		県債														
		国庫支出金	4,954	6,192	3,918											
		その他	0	0	0											
		決算額(B)	187,017	185,957												
	概算人件費	0.7	0.7	0.7												
	概算人件費(C)	5,793	5,540	5,540												
	概算事業費(B(A)+C)	192,810	191,497	204,896												
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コース、類型・選択制生徒満足度及び国語、数学及び英語の各教科の基礎学力定着度は達成した。進学対策講座をはじめ基礎学力の確実な定着等に向けた取組の成果が見られる。</li> <li>・次期学習指導要領も視野に入れた教育課程の研究・編成により、特色ある教育課程の編成と運用が進んでいる。</li> </ul>															

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	「21世紀型学力」の向上に資する教育活動を実施するために、グローバル化、社会の多様化に対応できる柔軟なカリキュラムを編成する必要性は高い。それに関連する研究及び非常勤講師の配置の継続は不可欠である。また、特に普通科におけるICT環境の整備に当たっては、生徒が主体的、協働的に学ぶ機会を提供することで課題を発見し解決する能力を育むためにもタブレット型端末、電子黒板等の機器の拡充は必須である。